

日 時	平成 24 年 8 月 3 日(金) 18:30~20:00
場 所	和歌山市 NPO・ボランティアサロン (寄合町)
参加メンバー (敬称略・順不同)	笹尾恭子 豊田泰史 筒井和男 湯川和俊 山本敦子 堀内省吾 玉井寛章 川島寛子 第 9 回から参加の方 川口充紀 (NPO 法人トレス代表) 木下顕次 (聖教新聞木下販売店営業) 平原佳和 (テレわかプランニング代表取締役)
議 案	1 アンケートの結果報告 2 8月3日現在の会員数と会費額について 3 水島大二先生のアドバイスについて 4 懇親会について 5 ホームページの作成について 6 役割分担について 7 南ロータリークラブ卓話依頼について 8 会が目指すものについての確認
	計 11 名 進行 川島 (順序は若干異なっています)

【議案 1 について】 アンケートの結果報告

設立総会アンケート集計を配布し各自みてもらう。

(ML で送った集計で参加人数に誤りがありました。訂正し再度添付します。誤 72 名 正 62 名)

【議案 2 について】 8 月 3 日現在の会員数と会費額について

入力した入会者の表を配布。確認してもらい回収する。

(8 月 12 日現在の報告です。 正会員数 30 名 104,000 円 賛助会員 19 名 20,000 円
現金による寄付 55,000 円 収入 計 179,000 円 支出 計 18,172 円 です)

【議案 3 について】 水島大二先生のアドバイスについて (川島より)

「当会の正会員で県立博物館友の会の会員でもある高垣晴夫氏の紹介で水島大二先生とお会いすることが出来ました。水島先生は学術認定団体「日本城郭史学会委員」、日本城郭史学会和歌山支部長、和歌山城郭調査研究会顧問を務められ、和歌山城整備企画課でも信頼されている方と教えてもらっていたのですが、その証明ともいえる本と和歌山城内の観光案内所で出会いました。「男の隠れ家」(発行(株)プラネットライツ)という全国誌の 6 月号です。「城と城下町に漂う時間」という題で表紙が和歌山城、同誌の和歌山城の説明・案内を水島先生がしてくださっています。お会いさせていただいた当日はよどみなく湧き出る知識をひけらかすどころか、私が理解できる範囲でわかりやすく、気さくにお話くださり感激した川島です。『史跡として当時に戻す活動をしている自分にとって今回のアドバイスは相反するもので辛いものがある。しかし、みんなにお城を楽しんでもらいたいという思いはもちろんある。』というお言葉を前提に以下のアドバイスをいただきました。」(ものすごく元気の出る嬉しいアドバイスです)

「お城の中で最も重要なものは天守閣ではなく城郭である。その城郭を隠すようなことは決して、してはいけない。名古屋城や大阪城の天守閣横に作られたエレベーターも石垣を隠す造りにはなっていない。文化庁がどういう判断を下すかわからないが、スロープ設置の可能性としては新裏坂だと思う。なぜなら、

新裏坂は大正時代に作られたもので史跡ではないからである。鶴の溪の階段や紅葉溪庭園横の階段の slope を考える時も石垣が見えるようなデザインにすべき。」

【議案 4 について】 懇親会について

交流と勉強を目的としてお弁当を持って和歌山城をみんなで歩いてみるという提案があった。今回、水島先生の快諾をいただき以下のプログラムで懇親会を開くことに決定した。

タイトル	「和歌山城の城郭の価値再発見」(仮称)		講師	水島大二先生	
日時	平成 24 年 9 月 1 日 (土) 9:30~12:00 頃		城内にて	12:30 頃~ 昼食会	
集合場所	新裏坂登り口	対象	正会員のみ	会費	昼食代 (場所と値段は未定)

【議案 5 について】 ホームページ作成について

できるだけ早く開設して会員や興味を持ってきている人たちに情報を開示していく。

- ① 目的 (活動の案内・報告・会員募集・問い合わせ窓口・コミュニケーション等)
- ② 形式 (無料のレンタルサーバーを使用。会のメールアドレスも取得する。)
- ③ その他 (Facebook や twitter、ブログなど、手軽に更新できるものを連動させる)

山本敦子・山本智子が担当となり HP について提案と開設を進めてきている。ML で報告あり。

【議案 6 について】 役割分担について (8 月 3 日現在)

HP 担当 山本敦子・山本智子

会計 堀内省吾

会員情報管理 川島寛子 (補佐 玉井寛章)

その他の役割について随時必要なとき事務局から依頼する。今回、懇親会に関して以下を依頼。

懇親会案内文作成 筒井和男

懇親会会場確保 湯川和俊

【議案 7 について】 南ロータリークラブ卓話依頼について

「豊田さんのご紹介により、笹尾代表と事務局担当川島で 8 月 10 日 (金) に行ってまいりました。川島から市民ボランティア「わかやまフレン ZOO ガイド」の活動を交えてバリアフリーの必要性と目指す形を、設立会で使った資料を使って説明。そして私たちの思いと南ロータリーの皆さんへのお願いをしっかりと笹尾代表が伝えてくれました。ロータリーさんが持っているラジオ番組の出演も依頼されました。笹尾代表が出演予定です。放送日時はまだ聞いていません。」

【議案 8 について】 会が目指すものについての確認

参加メンバーより、当会の本筋を確認したいという意見があった。

当会の本筋・優先順位は「和歌山城から始めるバリアフリー」であり「みんなにやさしい和歌山をつくる」ことであるが、第 2 回定例会で話し合われたように、和歌山城の「あったらいいなと思うもの」「改良すべきハードとソフト」を観光面や経済面・学習の場としても考えていきたい。その点をどう具体化していくか鈴木先生・川島で相談する予定である。

理事の皆様には上記内容の承認をお願いいたします。

次回定例会は 9 月 7 日 (金) NPO ボランティアサロン (寄合町) 18:30~です